

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(令和4年度)

事業所名 グリーンヒルキッズジュニア

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4		・通路の区分、学習スペース、時間や活動などを分化し工夫しているが全体的に狭い感じがする。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3		・適正に配置されている。送迎要員がいるとなお良い。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4		2	・適正になっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3		・一部修繕が必要と感じられる箇所あり。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・保護者の意見は真摯に受け止め、改善できる点は改善している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		・法人ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3		・保護者向けアンケートは記入して頂き、第三者による外部評価も検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		・月例会議では事例検討を行うことで、より良い支援に繋がるようにしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		・6ヶ月毎にモニタリング実施、保護者との面談を行いながら放課後等デイサービス計画の作成をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		・県のアセスメント様式を参考に、事業所独自様式を利用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・1ヶ月毎に行事計画を話し合い、分担担当を決め行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		・子どもの実態に合わせたプログラムを検討し、行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		・コロナの影響で制限はあるが、前月に個別支援課題を検討している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		・放課後等デイサービス計画を作成し、支援手順などを必要に応じて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・特に個別対応が必要な児童に対しては、前日に細かく打ち合わせをしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		・支援終了後の打ち合わせは必ず行い、振り返見直し・検討を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・記録を細かく記入し、一人ひとりの支援に生かしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2		・児童の成長や新たな課題について職員間で共有検討し、内容の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1		・基本活動を組み合わせて支援を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		・管理者が参加している。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1	・送迎時や行事等は、学校・学年だよりで確認し、利用申請書と照合している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	1	・保護者を通しての連絡が多い。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	・就学前に利用していた保育所・幼稚園・児童発達支援事業所等と連携を取り合っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	・該当児童生徒なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	・積極的に外部の専門研修などを受講している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	・コロナ感染予防のため今年度は実施できなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	・八千代市自立支援協議会子ども部会に法人として参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・連絡帳や送迎時の引き渡しの際に伝えている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	・日々の様子を共有する中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努力している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	・契約時に伝えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	・連絡帳や茶話会等で保護者の意見や悩みを把握し、いつでも電話対応をしたり面談したりする体制を整えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1	・今年度はコロナ感染予防のため慎重に開催し予定通り実施した。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		・職員で発生原因と改善策を話し合い、迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		・利用申請書配布の際、伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			・USBの持ち出しをしない。 ・保管場所を決める。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・子どもの行動の前後の様子から、思いを読み取るように努力している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2		・コロナ感染予防のため、制限され実施できなかった。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		・職員間は研修で周知している。 ・保護者には周知徹底していない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		・定期的実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2		・虐待研修を行っている。

等の 対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	・身体拘束禁止等のマニュアルを作成して職員への周知徹底はしている。身体拘束に該当する児童はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	・一覧表にしてまとめている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2	・記録を残している。事例検討を行い、その予防について全員で周知している。